

8年前の本誌第18巻第8号で大腸sm癌が特集として取り上げられ、興味ある27例の症例呈示と400病変の集計から、sm癌のリンパ節転移、肝転移のrisk factorに関する解析が行われた。当時の識者らにより、診断面では各施設による病変の形態認識の相違や、無茎性隆起性病変の形状診断の不十分さなどが指摘され、また、治療方針の決定および予後判定に役立つ病理学的因子の解明の不十分さが問題とされた。

その後、国民の大腸癌に対する関心の高まり、診断技術の進歩などにより、sm癌の発見率も急速に高くなり、前述の問題点に関しても多くの知見が得られてきている。そこで、再び本誌でも本号および次号にわたって、「大腸sm癌の診断と

治療」を特集として扱うこととなった。本号では診断面を主に取り上げたが、X線、内視鏡所見を中心にsm癌の診断的特徴が詳細に明らかにされた感がある。また、病理学的浸潤度の解析からも裏付けがなされて、非常に興味ある内容となっている。そして、これらの所見は大腸癌の発育・進展過程を知るうえでも大きな示唆を与えるものと思われる。

ただし、臨床医が現在最も知りたいところは、内視鏡的切除や局所切除などの局所的切除のみで完治しうるsm癌の指標となる病理学的特徴、ならびにこれに結びつく形態学的特徴ではないかと思われるが、本号の内容からは十分に明らかにされているとは言えない。次号を期待したい。

胃と腸

8月号 (第26巻・第8号) 予告

発売予定 8月26日
定 価 1,957円(税込)

主題／大腸sm癌の治療

序 説	“大腸sm癌の治療”を特集するにあたって……………金沢大がん研・外科	磨 伊 正 義
主 題	大腸sm癌の治療……………慶應大学・外科	小平 進・他
	大腸sm癌の治療方針—内科の立場から……………北里大東病院・内科	五十嵐正広・他
	リンパ節転移陽性大腸sm癌の臨床病理学的特徴……………山形県立中央病院・外科	池 田 栄 一
	転移陽性大腸sm癌の形態的特徴……………慈恵医大・1外	石田 秀世・他
	リンパ節転移性大腸sm癌の形態的特徴……………国立大阪病院・外科	吉川 宣輝・他
	転移陽性大腸sm癌の形態的特徴……………愛知県がんセンター・消外	加藤 知行・他
	転移陽性大腸sm癌の形態的特徴……………癌研病院・外科	太田 博俊・他
	転移陽性大腸sm癌の形態的特徴……………東大・1外	沢田 俊夫・他
	リンパ節転移陽性大腸sm癌の形態的特徴……………都立駒込病院・外科	岡部 聡・他
	リンパ節転移陽性大腸sm癌……………新潟大・1外	畠山 勝義・他
	転移陽性大腸sm癌の形態的特徴……………九大・2内	飯田 三雄・他
	転移陽性大腸sm癌の形態的特徴……………国立がんセンター・病理	板橋 正幸・他
	大腸sm癌アンケート集計報告……………東大・1内	武藤徹一郎・他
座談会	大腸sm癌の診断と治療……………武藤徹一郎・丸山雅一・他	星子 浄水・他
今月の症例	超音波内視鏡が有用であったスキルス胃癌の1例……………松山日赤・消	
初心者講座	胃X線検査のポイント—私の精密検査法……………	
	7.胃癌の深達度診断……………瀧上忠彦・石川 勉・西澤 護	

胃と腸 (第26巻 第7号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

社内案内 (03) 3817-5600

本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1991年7月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,957円(本体1,900円)(配送料81円)

年ぎめ予約購読料22,320円(本体21,670円)

(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 永和印刷(株) ☎(03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎(03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1991, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• 無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当) 渡邊・窪田・江口・長谷川